

49th Regular concert
in Tokyo

大阪フィルハーモニー交響楽団
エイ・オブ・エイジ
The Final Season

大阪フィルハーモニー交響楽団

第49回東京定期演奏会

2012年2月19日(日)

14:00開演 (13:30開場)

会場：サントリーホール 大ホール

Venue / SUNTORY Hall

指揮：大植英次

Conductor / OUE Eiji

大植監督ファイナル

古典と近代 大植サウンドの集大成「田園」^{ハルサイ} & 春祭

Program

ベートーヴェン：交響曲 第6番 へ長調「田園」作品68

Ludwig van BEETHOVEN / Symphony No.6 in F major, "Pastorale" Op.68

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

Igor STRAVINSKY / Ballet music "Le sacre de printemps"



料金

S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,000

学生 ¥3,000 ※カジモト・イープラスのみ取り扱い。当日開演1時間前より座席引換。

※未就学児のご入場はお断りさせていただきます。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込み・お問合せ

カジモト・イープラス TEL.0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター（10:00～18:00）もご利用いただけます。

ホームページからもお申込みいただけます（パソコンもケータイも同じアドレス）。

<http://kajimotoeplus.com/>

チケット販売所

大阪フィル・チケットセンター

06-6656-4890

<http://www.osaka-phil.com/> (PC・携帯)

チケットぴあ

0570-02-9999 Pコード:153-156

e+ (イープラス)

<http://eplus.jp/>

サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999

平成23年度 文化芸術振興費補助金 (トップレベルの舞台芸術創造事業)



49th Regular concert Tokyo

大阪フィルハーモニー交響楽団 第49回東京定期演奏会

大植監督ファイナル

古典と近代

大植サウンドの集大成「田園&春祭」



音楽監督・大植英次ファイナル・シーズンに東京へお届けするのは2001年に9.11テロの影響で中止となった、当時音楽監督を務めていたミネソタ管弦楽団の日本ツアー用に準備していたプログラム。最初に演奏するベートーヴェンの「田園」は、監督にとって師バーンスタインの録音に立ち会ったことのある想い出の曲で、「生涯のレパトリー」と語ります。また、ストラヴィンスキーの「春の祭典」は1995年に初めて音楽監督に抜擢されてミネソタ管との初録音の曲で、そのアルバムがグラミー賞にノミネートされたことで音楽シーンにその名を広めるきっかけとなった曲。想い入れの強い十八番プログラムで9年間の有終の美を飾ります。

指揮 (Conductor) | **大植 英次 OUE Eiji**

2003年より大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。

広島生まれ。桐朋学園で斎藤秀雄に指揮法を師事。1978年アメリカに渡り、小澤征爾の招きでタングルウッド・ミュージック・センターに学び、同年ニューイングランド音楽院指揮科に入学。タングルウッドでレナード・バーンスタインに出会い、以後世界各地の公演に同行、助手を務めた。パッパロー・フィル準指揮者を経て、1990～1995年エリー・フィルの音楽監督、1995～2002年名門ミネソタ管の第9代音楽監督を務めた。1998年からはハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニーの首席指揮者を務め、2000年よりハノーファー音楽大学の終身正教授も務めている。2006年9月バルセロナ交響楽団の音楽監督に就任、2010年まで務めた。2009年9月よりハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニーの終身名誉指揮者となる。

2005年、新演出の「トリスタンとイゾルデ」で日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界中の注目を集めた。2006年から毎年大阪城西の丸庭園で実施している「皇空コンサート」では大成功を収め、毎年9月には1週間にわたり大阪御堂筋周辺の店舗やショールームなど数十かが所で開催する「大阪クラシック」をプロデュース、いずれも大阪の風物詩となり、多くの聴衆を魅了している。2006年度大阪芸術賞特別賞、斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年11月、第42回大阪市市民表彰を受彰。2009年6月、ニーターザクセン州功労勲章・一等功労十字章を受章。

大阪フィルハーモニー交響楽団 **OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA**

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年に改組、現在の名称になった。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。2003年4月、大植英次が音楽監督に就任。またこれまでに、逸山信二、外山雄三、若杉弘、秋山和慶、手塚幸紀、大友直人等、各指揮者達と専属契約を結んだ他、内外の一流音楽家と共演。

「定期演奏会」はザ・シンフォニーホールで、年10回、毎回2公演開催している。また大阪以外の全国各地の文化振興にも貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行では各地で絶賛を博した。



大阪フィル・ホームページ

<http://www.osaka-phil.com>

PC・携帯からアクセス！



twitter	アカウント: @Osaka_phil
公式ブログ	http://osakaphil1947.blog66.fc2.com/



ホールへのアクセス

[南北線]
六本木一丁目駅(3番出口)
徒歩約5分

[銀塩線・南北線]
蒲池山王駅(13番出口)
徒歩7～10分

[バス]
都営01系統バス(渋谷～新橋)
赤坂アークヒルス下車